

平成28年度

第1回 学校評議員会の実施報告書

岐阜県立飛驒古城特別支援学校

校長 船渡千賀子

所在地 飛驒市古川町片原町8番127 TEL 0577-73-3600

1 会議の名称 岐阜県立飛驒古城特別支援学校評議員会

2 会議の構成 委員 (五十音順・敬称略)

中屋 正利	地域の方代表
山田 育夫	地域の方代表
藤田 計人	飛驒慈光会古城山ゆり園園長
松井 瑛子	地域の方代表
紺野 尚美	P T A代表

飛驒古城特別支援学校

船渡 千賀子	校長
鹿嶋 成美	教頭
中野 一博	事務長
中井 隆	小中部主事
石原 元子	教務主任
清水 学	進路指導主事 (作業主任)

3 会議の目的 学校運営等について地域住民や保護者等から幅広く意見を求め、充実した教育活動を展開するとともに、地域に開かれた学校づくりを推進することを目的とする。

4 会議の開催 日時：平成28年6月27日(月)午後10時00分～11時30分
場所：飛驒古城特別支援学校 会議室及び各教室
出席者：委員4人 学校職員6人
欠席者：委員1人

5 会議の概要 (1) 校長挨拶
(2) 委嘱状交付
(3) 自己紹介
(4) 学校概要について
(5) 授業参観
(6) 評議

6 会議の内容

○校長挨拶（略）

○自己紹介（略）

○学校概要

校長より職員の転出入及び職員構成について説明

- ・看護講師を給食時間帯について2人勤務が可能な体制とした。
- ・スクールカウンセラー1人が配置された。
- ・今年度も当校の特色である地域との交流を積極的に推進していく。

○授業参観及び施設見学（略）

○作業製品の価格設定について

材料費の変動に係る価格変更、新製品の価格設定について説明

意見1 適正な価格設定であると思われる。

意見2 エプロンは、胸当てもあるとよい。

○会議のまとめ(意見及び感想)

<授業参観の感想等>

意見1 生徒の挨拶は、大きな声でしっかりと行なわれていた。高等部肢体不自由の学級の「保健」の授業は、自分の高校時代と比べその内容の違いに驚いた。

意見2 青龍会として運動会の交流種目に参加したが、もっと協力できる場があれば教えてほしいとの声が会の中であがった。

意見3 子どもたちは、明るく授業に参加していた。成長して、立派な社会人になってほしい。

意見4 高等部の「保健」の授業に驚いた。自分は教師であったが、もっと人とかかわる指導をしてやればよかったと思っている。性教育は、親への指導も大切である。

<人とのかかわりについて>

意見5 町中で出会っても挨拶できるようになるとよい。

意見6 自分たちから挨拶するなど声をかけてあげていきたい。

意見7 仕事はできるが人とのかかわりが難しい方がいる。まずは挨拶が大事である。

<まとめ>

- ・大人が変われば子どもが変わる。教員の資質向上を図っていきたい。
- ・キャリア教育の視点から考えると、長い人生から見れば、学校生活は短いものである。学校の教育力は微々たるものである。地域の力をかりて、地域で生活できる子どもたちを目指したい。